

平成24年度

事務事業評価表(平成23年度の実績評価)

記入年月日

平成 24 年 4 月 1 日

事務事業名		国指定史跡真壁城跡保存整備事業					区分		事務事業No.	30513510
							<input checked="" type="checkbox"/>	分野別主要事業	課内No.	10
		政策体系上の位置付け					<input type="checkbox"/>	未来プロジェクト事業	事務事業主管課	
政策体系	総合計画の施策名	305 文化財の保存・活用					<input type="checkbox"/>	市長マニフェスト事業	所属部	教育委員会
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				<input type="checkbox"/>	合併建設計画事業	所属課	文化財課 35
	施策名	5	文化財の保存・活用				<input type="checkbox"/>	新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	課長名	飯塚邦彦
	基本事業名	1	文化財の保存				<input type="checkbox"/>	単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助事業	グループ	文化財G
		財務会計上の位置付け					事業期間		担当者名	宇留野主税
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計		<input type="checkbox"/>	単年度のみ	
	1	10	5	8	1	史跡等保存整備事業		<input checked="" type="checkbox"/>	単年度繰返し (H9 年度～)	
法令根拠						<input type="checkbox"/>	期間限定複数年度(年度～ 年度)			

【Do】 1. 事務事業の現状把握

期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事務事業の内容】
 国指定史跡真壁城跡の保存・活用を目的とした国の補助事業
 史跡真壁城跡地内の発掘調査を実施し、成果に基づいて保存整備工事(地形の保護・復元等)を実施する。
 外曲輪(外周部)から本丸(中心部)へと事業を進めており随時一般開放している。

【担当者が行う業務の手順】
 発掘調査・遺物整理・整備工事の監理

【事業費の内訳】
 賃金・報償・旅費・需用費・役務・委託料・使用料及び賃借料・工事請負費等

(1) 事務事業の目的			
①手段(23年度 実際に行った主な活動)	二の丸地区の発掘調査、外曲輪の保存整備工事	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア 発掘調査面積 単位 m ² イ 保存整備面積 単位 m ² ウ エ
②対象(誰、何を対象にしているのか)	真壁城跡	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア 真壁城跡面積 単位 m ² イ ウ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	真壁城跡が国指定になり、保護・活用を図るため平成9年度から開始	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) ア 発掘調査完了面積 単位 m ² イ 保存整備完了面積 単位 m ² ウ
④結果(どんな結果に結び付けるのか)	公園として開放と活用	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) ア 文化財を大切に、後世に伝承していきべきと思う市民の割合 単位 % イ

(2) 指標値の推移								
区分	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	28年度 (目標)
⑤活動指標	ア m ²	1,500	500	500	1,000	500	500	500
	イ m ²	3,700	2,660	3,360	3,000	3,000	3,000	3,000
	ウ							
	エ							
⑥対象指標	ア m ²	125,251	125,251	125,251	125,251	125,251	125,251	125,251
	イ							
	ウ							
⑦成果指標	ア m ²	27,833	28,333	28,833	29,833	30,333	30,833	32,333
	イ m ²	19,708	22,368	25,728	28,728	31,728	34,728	43,728
	ウ							
⑧上位成果指標	ア %	90.8	90.3	90.2	92.0	93.0	93.0	93.0
	イ							

(3) 投入量(事業費)の推移									
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	28年度	
事業費	国庫支出金	千円	21,600	24,000	15,000	8,140	10,742	21,000	18,000
	県支出金	千円	5,400	5,400	0	0	0		
	地方債	千円							
	使用料・手数料	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	16,200	18,600	15,639	8,140	12,019	20,000	19,000
	事業費計(A)	千円	43,200	48,000	30,639	16,280	22,761	41,000	37,000
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間		1,739	1,750	1,750	1,750	1,750	1,750
	人件費計(B)	千円	0	0	5,287	5,321	5,321	5,321	5,321
	トータルコスト(A)+(B)	千円	43,200	48,000	35,926	21,601	28,082	46,321	42,321

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 真壁城跡が国指定になり、保護・活用を図るため平成9年度から開始

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 公園として開放と活用

事務事業名	国指定史跡真壁城跡保存整備事業	事務事業No.	30513510	所属課	文化財課
-------	-----------------	---------	----------	-----	------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) 真壁城跡の保護と活用に繋がる <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) 国指定であり、市の所有物であるため <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?) 発掘調査及び保存工事を最小限で実施している <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) 最小限の事業で成果を最大限に活用している <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 事業が滞り、活用ができなくなり城跡の価値が生かせない <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性が有りますか? (市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 必要最小限で行っている <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?) 必要最小限で行っている <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) 市の財産である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 順調に整備が進んでいる。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3)-1 改革改善策																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 A: 継続(現状維持) B: 継続(改革改善を行う)	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 C: 終了、廃止、休止 D: 2次評価へ提出
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項